

問1.講演会の内容はいかがでしたか？

満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満
34	4	1	0	0

問2. 問1についてその理由についてお聞かせください。

【満足】

- 資料が細かく参考になった。とても懂れて、岐阜のような施設に興味があります。
- 講演の内容がとても分かりやすく、ハード面の話ではなく、ソフト面の話でとても楽しく聞くことができました。
- 図書館に欠けている「コミュニケーション力」の育て方が良かったです。館長の人柄がすごい。(何でも受け入れるところ)
- 同世代と思われる講師の先生の話で、いろいろと考えさせられた。
- テレビ番組で、美しい図書館として紹介されていて、コロナ前にメディコスに行かせていただき、吉成さんの図書館通信を全部取ってきて読ませていただきました。吉成さんのような考え方の人がトップであれば、どんどんアイデアが湧き、実現化し、楽しくなってきます。図書館だけでなく、企業など、組織が変わっていくためにはこういう考え方だと思います。子どもたちの居場所をつくっていく、人を大切にすることを形にするのは、大人の役目かなと思います。
- 素晴らしい内容だったから。
- 図書館の可能性が感じられ、アイデアがどれも素晴らしかった。単体のハコモノではなく、人やいろいろなものがうまく繋がっていく仕掛けがおもしろかった。
- 本を通してのまちづくり、子どもファーストからの(を軸にした)まちづくりについてワクワクして学ぶことができました。今後に活かしたいです。
- 利用者だけでなく、共に働く司書たちを大事にしていってほしい姿がお話しの中でのじみ出ていて、胸がいっぱいになりました。
- 本だけでなく、様々な出会いの場になっていて、地域との繋がりの大切さを感じました。
- 子どもの声は未来の声のコンセプトから、子どもにとって安心・安全な場所、騒いでも良い場所など大変共感できた。
- 本を通しての(活用しての)取組みが面白かった。本と情報・コミュニケーションを街の活性化につなげていて素晴らしいと思いました。
- 小松でも実施しているワークショップの勉強につながる内容であり、図書館が出来るまでと出来てからと変化する小松市も記録に残したい。
- たくさんの考えを受け入れていて、その具体的な事例が知れて発見があった。
- 図書館から多くの可能性が広がることにワクワクしました。小松市の新しい図書館も多くのつながりが築けるものになってほしいと思います。
- 図書館という切り口が全てのジャンルにつながっていることを気づかせてもらいました。

- 分かりやすかった。聞いていて楽しかった。
- 図書館には無限の可能性があるのだと思えた。
- 具体的施策例が多く紹介されたこと。
- 「図書館」の可能性に気づくことができました。本というのは、情報を伝達する媒体であるので、図書館はその媒体の形にとらわれず、もっと広く情報を扱う場であればよいと思いました。
- 図書館のイメージが変わりました。様々な仕掛けにより、図書館が生む効果が大きいことがわかりました。
- 素敵な活動がいろいろ知れた。図書館とのつながりについて考えるきっかけになった。
- みんなの森 ぎふメディアコスモスのアイデアの多さに驚きました。
- 吉成先生のパワーに引き込まれ考えさせられました。
- 未来型図書館の具体的なイメージができた。
- 講演の内容が生き生きとしてひきつけられた。
- たくさん内容でしたが、メディアコスモス開館までの大変な日々が目に残りました。
- これまでワークショップをしてきた中で共感できそうなお話が多くあって、未来の図書館像が少しずつ見えてきたみたいな感じがしました。
- 吉成さん自身にエネルギーがあって、ドキドキワクワクが伝わってきました。自分が楽しむことが一番大事ということをつい忘れがちになりますが、思い出ことができました。図書館を建てることだけでなく、自分の仕事の役にもたちました。

【やや満足】

- 市の目指す図書館像にブレがないことが確認できた。
- 自分だったら思いつかないような様々なイベントや展示などが工夫されていて面白かったから。
- もう少し具体的に知りたかった。

問3. その他、未来型図書館づくりについてご自由にお書きください。

- この夏に石川県立図書館が大人も子どもも楽しめる施設にリニューアルしているので、そこをモデルケースに、小松市の図書館の構想に落としこめるところがあればと思います。
- いろいろとつながりを持てる場所。そして人づくりがポイント。
- 今日の講演のような地域と子どもたち、大人たちで楽しめる図書館になってほしいと思いました。
- 参加できる・参加したいと思え、モチベーションが生まれる図書館。
- 今回の講演が小松の未来型図書館の参考になることが多かった。たくさんの人に見てもらえたらよいなと思った。図書館(本を通じて)の役割も残しながら、ワクワクした施設、交流できる、人が集まる施設を今後も考えていけたらいい。また未来の子どもを地域みんなで育てていけるものになるといい。ぎふメディアコスモスにぜひ、見学に行ってみたいと思えるものだった。今日来てよかった。

- アグレッシブでフットワークの軽い上司がいることで、司書や利用者、その周辺の地元民たちの「考えているけれど…」というものが形になりやすく、楽しい図書館が出来上がってくるのだと感じました。
- 行きやすい、広い駐車場だと嬉しいです。
- 本・情報を通じた豊かなコミュニケーションの場。地域文化や観光へのつながり。まち全体の活性化。
- 小松市も子供たちの育ちを末永く見守る場所でありたい。市民にとってサードプレイス、知識を得る場、人とのコミュニケーション、つながる場になれるようお願いします。
- 行政はこれまでの考えを踏襲してしまうことが多いように思います。未来型なので、これまでの考えに縛られず、若い人、こどもの意思・要望が強く反映された方がよいと思います。突拍子のない案もたくさんあると思われますが、少しでも多く反映される方が、未来に愛される図書館になると思います。
- 小松市は近い将来新幹線が出来る事で、人の流れと大きなチャンスが来ます。そのチャンスを地元、市民、子どもの目線で大きく広げ、若い世代を呼び寄せるようなまちにしてほしい。その中心、フォロー、発展の一角を図書館が担ってほしい。人の集まる場所の提供と気楽に行ける空間の両立は難しいかもしれませんが、今はそれを可能にする時期にあると思います。
- 楽しそうな図書館がいいと思った。
- 広い図書館がいいと思う。今回の講演では広いスペースの図書館を紹介いただいたが、広い中に個別の狭いスペースもあえてあるといいと思います。
- 司書の方、一人一人のご活躍にも支えられているメディコスだと感じました。スタッフの方の力をのばし、お一人一人の活躍がその場限りにならないように人材の使い方、育成の仕方を小松の図書館でも実現できたらよいと思いました。メディコスのように、現場スタッフの声をくみあげていく運営の仕方が素晴らしいと思いました。
- 子どもがのびのびできるのは大事だが、くれぐれも一般の閲覧者の妨げ(棚の間中を走り回るなど)がないよう、子どもと同じくらい大人の居心地を配慮した全ての人にとって落ち着ける「みんなの」という名前どおりの場所になってほしい。
- 理想は高くなっていくと思いますが、基本ベースを固めた図書館の設置をお願いしたいです。行きやすい、使いやすい図書館がまず必要だと思います。
- 石川県にも新しい県立図書館ができました。ただ、今日のお話を聞いてから、比較すると、新しさはまだまだ形が優先している感じです。やはり地方の図書館は地元の人達とのつながりがまず大切なのではないかと再認識しました。
- サイエンスヒルズの椅子は、長時間座っていても疲れないので、公会堂を改築し、地下駐車場をシェルタ併用の多目的図書館が必要かと思います。また、専門書を多くそろえてください。
- 子どもたちが集まり、大人も集める、そんな図書館に小松の図書館もなれるといいと思いました。

- 図書館といえば、本を読むだけのイメージでしたが、今回の講演を聞いて人と人がつながる場所になると良いなと思いました。
- 地域の人間が老若男女を問わず、関わりを持つ必要があり、地域とともに情報の交差点としての図書館の重要性が必要となっていくと思う。
- 自分事にできる市民をひとりでも多く輩出する仕掛けづくりが大切だと思う。まずはそこに気づいた自分から始めたい。
- 「子どもの声は未来の声」まさにこのような図書館をつくってほしいです。人と人がつながるそんな場所、そして司書さんの意識が変わるといいな。笑顔いっぱいの司書さんのいる場所にしてほしいです。
- 今日の講演タイトルを聞いた時、新しい石川県立図書館を思い出しました。ですが、小松市に未来型図書館が出来るとして、石川県立図書館みたいなのはちょっと違うかなと思っていたので、今日のお話を聞いてそういう方向、ぎふメディアコスモスの方向に進んでいったらいいなあと感じました。それは図書館という線を逸脱せずに幅広い活動をされているからです。石川県立図書館はアスレチックコーナーのようなものがあつたのですが、うるさくて、これは図書館に必要なものなのかなと感じたからです。吉成さんが仰っているように、寝転んで本を読んだり、ある程度お話できたり、子どもを静かにさせすぎず、自由に本を読める空間であってほしいとは思いますが、図書館を脱線せず、幅広い活動のある図書館を作ってもらえると嬉しいです。